

中学校生活初めての第1回 South Dreamでの学び

フランソワ・ニヨンサバ氏講演

「夢をあきらめるな! ~激動の半生を振り返る~」を聴いて

袋井南中学校体育館で South Dream が行われました。第1回講師は、順天堂大学大学院 国際教養学部 学部長 フランソワ・ニヨンサバ氏 (アフリカ・ルワンダ出身) でした。

フランソワ氏は、田舎で貧しい生活を送りながらも努力して医学の道に進まれたこと、夢を持つこと、決してあきらめないことの大切さを巧みな話術や当時のスライドを提示しながらユーモアを交えながら分かりやすく、時には熱く問い掛けながら語っていただきました。

今、夢に向かって頑張ろうと思っている中学生にとって心を揺さぶられるお話だったと思います。そのようなフランソワさんの姿や言葉から学んだことを紹介します。

「South Dream フランソワさんのお話を聴いて」(フォーサイトより)

- ・今日の5時間目のお話をきいて、自分たちのようにみんなが小、中学校に行くことができるわけではないことを知りました。また、差別をされるのが辛くて自殺をしてしまう人がいることを知り、あらためて差別は良くないことだとわかりました。
- ・まず、人種差別がひどいと思いました。肌の色が違う人がバスに乗るだけで客全員が降りてしまうと聞いたときはかわいそうだと思います。日本は恵まれてるということもわかりました。水、電気、ガス、食べ物などが無いことも驚きました。
- ・家族に貧しい暮らしをさせないために親孝行をする気持ちに共感しました。中国にまで行って頑張って勉強をし、やっと故郷に帰れると思った矢先に家族を襲った不運のお話がとても辛かったです。私達は聞いて想像することしかできませんがフランソワさんはもっと辛かったと思います。もし私とその立場であったら辛くてとても絶えられないです。ルワンダでの生活、中国での差別、偏見の話聞いて本当に日本は恵まれている、そして今学校に行けている自分もとても恵まれているなと思いました。
- ・フランソワさんが「夢、ゴール、モチベーションがあればどんなことでもできる」と言っていたようにその3つのことを意識して生活していきたいです。どんなに辛いことがあっても強い心を持ち、夢をあきらめなかったことに感動しました。本当にすごいと思いました。
- ・フランソワさんのお話を聞いて、夢を諦めずに、夢に向かっていろいろなことをすれば必ず夢は、叶うと僕は思いました。イジメや差別があろうと負けないという信念を持っていれば、必ず良いこと=奇跡が起きるし、辛いこと、失うことがあれば人は「大きく」なるという素晴らしいことも学びました。少しずつ自分も変わっていったらいいなと思いました。



袋井南中学校体育館で講演するフランソワ氏